

報恩講

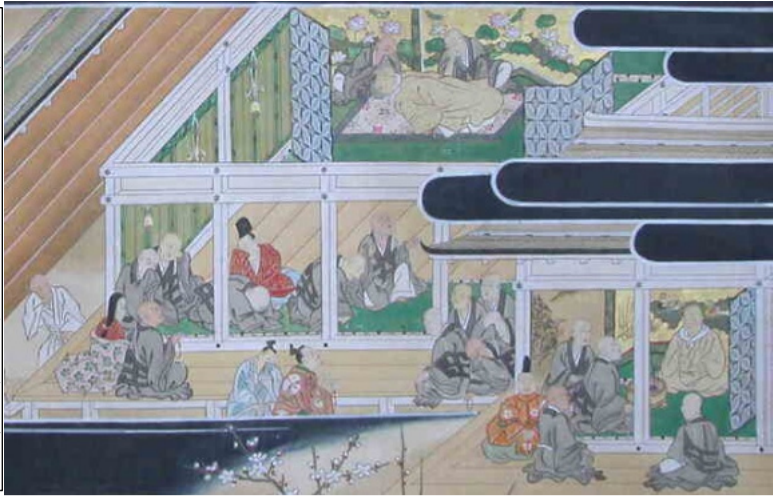
題字 松川裕子

浄土真宗本願寺派妙徳寺
(安芸教区志和組)
発行責任 寺報編集委員会
東広島市八本松町飯田六〇二
電話〇八二四二八〇一四四



報恩講にお参りください

(連夜)「を年内に取り越ししてお勤めすることから「お取り越し」ともい、各寺や各家でお参りしてききました。



「絵伝第四幅第三段目」臨終の場面

報恩講は浄土真宗で最も大切にしている行事です。親鸞さまのご命日(新暦一月十六日)法要の「おたんや

のが浄土真宗門徒の歴史です。親鸞さまを要とする私たち浄土真宗の門徒は、は

「親鸞さまのお諭しにより仏さまの教えをよる」お仲間、悩み苦しむあるいはよろこびを、親鸞さまとともに仏さまの教えから学ばせていただくこととしてきた

寺院活動のための新型コロナウイルス感染症拡大防止の方針

今後私たちの法座の機会を守り寺院活動を消極的なものにならないために志和組法中で協議、感染防止対策をとりながらより安全な法座を開催することを目的として、あらためて次の5点を志和組法中の方針として申し合わせることにしました。

<志和組法中としての方針>

- [1] 手指の消毒設備の設置、マスクの着用依頼、室内の換気、飲食提供に対する配慮等、適切な感染防止対策を講じること
- [2] 3密(密閉・密集・密接)の状態にならないよう互いに配慮を心がけること
- [3] 大声での発声、歌唱とならないように配慮し、又は近接した距離での会話等を控えるように呼び掛けること
- [4] 参拝くださる方には事前の検温をお願いし、37.5℃以上ある場合は参拝を控えていただくようお願いすること
- [5] 相手の痛みを知る仏教徒として、感染者・医療福祉関係者やその家族などを誹謗・中傷・差別になる言動を厳に慎むこと

王子布教所通信

弟の大江和正が東京都北区王子で築地本願寺王子布教所を開設して頑張っています。今回は弟の活動の思いをご紹介します。どうかご支援ください。

私は、広島県の山あいのまち、東広島市にある妙徳寺で生まれ育ちました。父は、私が幼い時に急逝しました。そのため祖父が長く住職として頑張りました。明治生まれの祖父が、私にとつて父のような存在でもあります。今は兄が住職を務めております。

この妙徳寺には、いつも様々な方が集まっています。お寺って何だろうと疑問を抱いた時期もありました。そんなころ、お寺の総代を務めてくださったある方に言われたのです。「いのちを終えてから先のほんとの話が聞けるのは親鸞聖人の教えだけ。これが聞けるのはお寺しかありません。最後にはみんなこの教えが

るか昔に亡くなられた親鸞さまを、より身近に感じて親しむために報恩講を大切にお勤めしてきたのです。普段の法座とは違い、報恩講では余間に四幅の掛け軸

「ご絵伝」とい、親鸞さまのご生涯を絵で表わされたものです。このご絵伝の前でご生涯を言葉で語り伝えたのがご伝鈔です。妙徳寺のご絵伝

は一七六〇年ごろに本山から下付していただいたもの、当時もご絵伝の前で拝読されるご伝鈔を拝聴しながら、親鸞さまのことを身近に感じ仏さまの教えに触れていかれたのです。

て救われる身の上でありましてから「に出あつていかれたに違いありません。いまのご絵伝は電灯に照らされますが、昔は灯火のほのかな明かりの下であったことでしょうか。うすぼんやりと照らされた親鸞さまのご生涯記、でもはつきりと親鸞さまをそばに感じておられたのだと思います。

「正信偈の十二光」阿彌陀仏はすべての人を救うためにどのような仏になられたのか? 親鸞さまはその働きを「正信偈」で十二の光とお教えくださいます。今回は十一番目の光「無称」(次頁へ続く)

一語法話

行事予定

新型コロナウイルス感染症リスク軽減を目的に法座回数を当面減らすこととしています。ご注意ください。

十二月二十五日(金) 午前九時 午後一時

報恩講(ほうおんこう)

講師 世羅町甲山 正満寺 島津 恵航師

十二月二十四日(木) 午後一時より 報恩講前日準備 お手伝いよろしくお願ひします

護持会報告会

十二月二十五日(日) 午後一時から二時

年末お掃除

大晦日 午後十一時半から

除夜会(じよやえ)

元日 午前十時より一時間半

修正会(しゅうしゅうえ)

一月十日(火) 午前九時、午後一時

御止忌法要(おたんや)

講師 八本松町篠 本派布教使 岡本 法治師



ホームページもご覧ください <https://www.t-oji.tokyo/>

(前頁からの続き)
「光明月日」に勝過して
超日月光と名づけたら
釈迦は嘆いてなお見えず
無等等を帰命せよ」
(無等等・並ぶものがないほどすばらしいという意味)

超日月光とは、太陽の光、月の光を超える光というところ、この太陽の光とは智慧を、また、月の光とは慈悲を意味しています。その智慧や慈悲を超える光とは、人間の智慧や慈悲を超えた仏の智慧や慈悲の事です。薬師如来の脇には日光菩薩と月光菩薩がおられるので

「藝州賀茂郡飯田村 獨歩行」竹本省三

其の十二

文政年(一八一九)の植物

「國郡志御用二附下志ら邊書出帖」から植物の類を紹介し

●草之類

雀粟朝神 血留神 ほうかう 草 茶したあ いぎ菜すはふ菜 露持馬(こやし板とりむしを おもとらん川原文 金銀草

●木之類

しび菜 踊子葛 眞草葛 根無 葛いひ松いひいほいほい ちこくちなわい(ちこい

●花之類

常花 白木嫁たき水木 さつかふ丹羽ノ木餅ノ木 北杉花ノ木藤松いもふ木五

●果之類

梅桃柚柿大和柿木ねり 柿みノ柿 棗 葡萄 山茨菰 果季 唐柿 梨 銀杏 胡桃

●菜之類

独活 苦参 茅根 細辛 りう丹 車前子 麦門冬 桃仁 烏梅 香附 子木通 山菜 枇杷葉 桑田皮



合同墓・墓地案内
有縁の皆さんでおまもりして
いる合同墓と一般墓地があり
ます。縁ある多くの方に利
用いただきたいと思ひます。
妙徳寺ホームページ
http://myotoku-ji.sakura.ne.jp/
更新し内容充実するようがんばります。
みょうとくチャンネルもたまにご覧ください。
妙徳寺LINE
現在テスト中。ご登録いただくと
行事などをご案内する予定です。



花は古典文学に次の様に登
場し、慈しまれていました。
『源氏物語・権』
立ち寄らむ蔭と頼みし権が本
虚し床になりけりかな
『古今和歌集』
秋の野にかりそ暮れぬる女郎
花今宵ばかりの宿も重なる
女郎花が詠み込まれている
二つの歌は、夕霧という男性
が女性の元を二晩訪れて二
晩、三晩を続けて来ないこと
を語るものです。平安時代の
公卿社会では、通い婚が慣例
で、三晩連続で通うことが、
女性に対する儀礼でした。

「書道教室」

10月は7日,14日,21日,28日
の各金曜日(午後2時半~午
後5時の間)が稽古日です。
11月以降の予定については後
日お問い合わせください。
妙徳寺LINEなどでもお知らせする予定です。
金谷雷聲先生(蓄門会)による幼児・児童・
大人対象、硬筆・毛筆教室です。
申込は金谷先生のFAX0823-82-9565,また
は妙徳寺へご連絡ください。



「おみのりサロン」開催予定日

10月 20日(木) 11月 24日(水)
12月 26日(月) 午後2時より1時間半
(住職が本堂に待機、相談を受け付けます)

「写経の会」開催予定日

10月 28日(金) 11月 18日(金) 12月 2日(金)
それぞれ午後2時より
申し込みは代表_西本さん(428-2466)、または妙徳寺へ

「生きていくための仏の教え仏教基礎講座」

10月 8日(土) 11月 12日(土) 12月 10日(土)
それぞれ午後2時より
申し込みは代表_廣川さん(428-5935)、または妙徳寺へ

「妙徳寺仏教壮年会例会」(原則毎月第2土曜日)

10月 8日(土) 午後6時より 定例会
11月 12日(土) 午後6時より 定例会
12月 10日(土) 午後6時より 寺報編集会議/ 懇親会

志和組テレホン法話「みのりの電話」

082-433-4989
10月 1日~ 西方寺 安國 眞雄
10月 11日~ 八本松 篠岡本 法治
10月 21日~ 報専坊 松島 典子
11月 1日~ 妙徳寺 大江 了証
11月 11日~ 長松寺 中田 輝道
11月 21日~ 西方寺 安國 晴子
12月 1日~ 寿福寺 田中 一乗
12月 11日~ 浄蓮寺 沼田 典生
12月 21日~ 天龍寺 天野 由紀子
志和、八本松川上地区の本派寺院13カ寺の
テレホン法話です。3分程度のお話を24時
間いつでもお聞きいただけます。
ぜひ、電話でもお聴聞してください。